

初任総合教育第五期

～ STRONG HEART ～

4月3日、山梨県下の10消防本部から、初任総合教育第五期生が山梨県消防学校に入校しました。

消防士として高い志を持ち入校式を迎え、晴れ晴れしいスタートを切ることが出来たと感じています。

学生一人一人が強い意志を持ち、県民の皆様の期待に応えられる消防官になれるよう日々努力して参ります。



入校から1ヵ月は、主に座学や訓練礼式を中心に、消防士に必要な基礎知識として公務員制度や消防法、礼儀作法などを学びました。

5月からは、基礎訓練が始まり、消防職員としての基礎となる体力の錬成や、ポンプ車の構造、放水訓練、消防活動時の器具の取扱訓練などを行いました。また、消防職員倫理として、消防士とはどうあるべきか、何を求められているかといった事も学び、より一層責任感や、自覚が芽生え始めました。

6月からは、ロープの取扱いや三連はしごといった現場活動で必要となる資器材を使うための訓練が始まりました。また、サーキットトレーニングなどの体力錬成も行い、体力面、精神面の向上と共に5期生の絆も深まりました。

6月5日に行われた、「山梨県消防救助技術大会」を見学し、先輩方の勇姿を間近で感じ、一歩でも近づけるように訓練に励んでいこうと固く心に誓いました。

これから残り5ヵ月、訓練もより一層厳しさが増すとは思いますが、5期47人強い心を持ち、技術や体力を磨き上げ現場活動で必要となるものを身に付けられるよう、鍛錬して参ります。

